



「今」を見つめ「未来」へつなぐ  
～地域とともに～

## 御礼 姫路獨協大学 創立30周年記念募金

平素より、獨楽会活動へ御協力を賜りまして、誠に、ありがとうございます。

一昨年来、お願いをしておりました「姫路獨協大学創立30周年記念募金」が、3月末日にて、完了致しました。

同窓生の皆様、そして、御関係の個人・団体の御賛同頂きました皆様からは、多額のお心遣いを頂戴致しました事、当方からも、心から厚く御礼を申し上げます。

今後も、獨楽会として、姫路獨協大学を盛り立てる為、努力する所存です。それには、同窓生の皆様の御協力が不可欠です。今後とも、何卒、御尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(獨楽会会長 武本錠治)

## ファミリー専願入試

合格者には、合格時点で「ファミリー制度」が適用され支援金が支給されます。

以下の条件を満たす受験者で、合格した場合には、入学が確約出来る専願者を対象としています。

- 1.学業成績、人物ともに優れ、校長が推薦する者
- 2.二親等以内の親族が本学を卒業・修了か、本学に在学中の者
- 3.下記のいずれかを満たす者

- ①高等学校または中等教育学校を卒業した者、及び2020年3月に卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び2020年3月に修了見込みの者
- ③学校教育施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2020年3月31日までにこれに該当する見込みの者

詳細は、本学の「受験生応援サイト」にて、御確認下さい！

## 【 2019年度:第23回同窓会総会 】

本年度は、志湧祭開催に合わせ、10月13日(日)の16時より、姫路キヤッスルグランヴィリオホテルにて、「同窓会総会」を開催致します。また、総会に引き続き、17時より、「懇親会」を開催致します。どうぞ、併せて、御出席下さい。同封の「獨楽会総会・交流会 出欠・委任状」に必要事項を記入の上、同窓会事務局まで、返信をお願い致します。

### 《返信先》

姫路獨協大学同窓会 獨楽会  
〒670-8524 姫路市上大野7-2-1  
E-mail: honbu@hdud.gr.jp

## .....《FROM獨楽会》.....

### 【獨楽会からのお願い】

#### ◎求む！ 同窓会運営委員

同窓会の運営をお手伝い頂けませんか？2か月に1度のペースで、運営委員会を開催致しております。是非、事務局へお知らせ下さい。

#### ○会報への寄稿

同窓会報への寄稿、お待ち致しております。近況のお知らせはもちろん、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催について、寄稿頂ければと思います。

#### ◎御注意を！ 獨楽会では、名簿業者との提携はしておりません！

獨楽会や大学関係者を装い、同窓生の皆様に問い合わせや勧誘があるとの旨、お知らせを頂きます。電話による各種調査も一切実施致していませんので、不審な問い合わせ等がありましたら、事務局まで、お知らせをお願い致します。

#### ○住所変更について

転居・住居表示等の変更、また、就職・転職をなさった後、事務局までお知らせをお願い致します。頂いた情報は、キャリアセンターとも協力して、後輩の就職活動に、役立たせて頂いています。確実に、同窓会報をお届けする為にも、御協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

### 【召集のお手伝い致します！】

同期会・ゼミ会・OBOG会の召集は、お困りですか？

獨楽会では、会員間の取次サービスを行なっております。召集のお手伝いは、お気軽に、事務局までお問い合わせ下さいませ。詳細は、獨楽会HPにて、御確認願います。

また、同期会・ゼミ会・OBOG会の開催に当たり、獨楽会では、支援を致しております。こちらも、お気軽に、お問い合わせ下さい。

#### 《問い合わせ先》

獨楽会本部 <http://www.hdud.gr.jp/>

### 【獨楽会からの発信！】

大学情報等、Facebookを通じて、御紹介しています。

また、同期会・ゼミ会・OBOG会等の告知でも、御利用頂ければと思います。

同窓生の皆様方の拠り所として、是非、獨楽会を御活用下さい！

是非、訪問下さいますように…。

### ♪編集後記♪ .....

平成を駆け抜けた姫路獨協大学！令和にて、また、新たな1頁が開かれます。継続・発展…心から、願っています。(姫獨協子)



# Himeji Dokkyo University Alumni Association

Vol.36 2019.8.1

姫路獨協大学同窓会報

2019年

## 第23回 同窓会総会

10月13日(日)

総 会 16:00～

会 場：姫路キヤッスルグランヴィリオホテル

会議室 松竹

懇親会 17:00～

会 場：同ホテル多目的ホール さぎ草

姫路獨協大学同窓会事務局

670-8524 姫路市上大野7-2-1

TEL & FAX 079-223-9263

E-mail honbu@hdud.gr.jp

URL <http://www.hdud.gr.jp>

こま  
獨楽会

獨楽会Facebook



## 2019年4月に就任なさった柳澤振一郎学長を 獨楽会:武本錠治会長が、表敬訪問しました。

やなぎさわ しんいちろう  
**新学長 柳澤 振一郎先生**



### 【プロフィール】

#### 〈学歴〉

昭和60(1985)年3月 東邦大学 薬学部 卒業  
平成2(1990)年3月 中央大学 経済学部(3年次編入) 卒業  
平成5(1993)年3月 同 大学院 商学研究科 商学専攻 博士前期課程 修了  
平成18(2006)年3月 神戸大学:博士(医学)

#### 〈経歴〉

平成12(2000)年8月 神戸大学 都市安全研究センター 都市安全医学研究分野 助手  
平成18(2006)年4月 同 医療リスクマネジメント研究分野 講師  
平成20(2008)年4月 姫路獨協大学 薬学部 教授 医療経済学研究室(現在に至る)  
平成28(2016)年4月 同 教務部長(平成31(2019)年3月まで)  
平成28(2016)年4月 同 評議員(平成31(2019)年3月まで)  
平成31(2019)年4月 同 学長(現在に至る)

**主たる研究テーマ:「医療技術の社会経済評価に関する研究」**

### 姫路獨協大学学長就任の心境

学長になるとは、昨年の11月まで全く予想もしませんでした。

18歳人口の減少を要因とする、所謂「2018年問題」の最中、本学も大変厳しい状況にありますが、2017年、本学は創立30周年を迎える事が出来ました。

その記念事業テーマに『「未来」へつなぐ』という一句が挙げられています。

今までの31年間、先輩諸氏が築き、引き継いで来られた本学を、『「未来」へつなぐ』為に、最善を尽くして行きたいと思っています。

### 姫路獨協大学の運営方針

根底にあるものは、「人材の育成」と「地域貢献」です。

獨協大学初代学長である天野貞祐先生の「大学は学問を通じての人間形成の場である」との言葉は、今では獨協学園全体に共通する理念であり、本学においても、その実践を通じて未来を担う人材の育成に取り組んでいます。

また、本学は姫路市と獨協学園とが力を合わせ、全国初の公私協力方式により設立された歴史があります。姫路市及び周辺地域から期待される人材育成を始めとした地域貢献には、一層の努力をする所存です。



### 姫路獨協大学の現状

「2018年問題」について少し触れましたが、少し補足させて下さい。

18歳人口のピークは1992年の204.9万人でした。本学が創設5年目を迎えた年です。2018年における18歳人口は、ピーク時の約58%まで減少しています。また、それは、今後も更に減少が続くと見込まれています。

しかも、大学の数自体は、1992年の523校から、2017年には780

校へと増加しています。ピークを過ぎてからの人口の減少分への穴埋めは、しばらくの間、大学進学率の上昇により補われていました。しかし、昨年春の大学進学率は53.3%で、地元兵庫県は全国第4位の60.6%であり、既に、高い水準となっている為、これ以上大きく上昇する事態は考えにくい状況にあります。

現在では、私立大学の約4割が定員割れの状況であると言わされており、本学も大変厳しい状況にあります。

本学においては、これまでに、キャンパスの整備・リニューアルによる学習環境の改善はもちろん、文系3学部の人間社会学群への移行による教養教育の充実と入学定員の見直しを行ないました。また、地域医療・介護のニーズに応えるべく看護学部を新設し、全学的な節約の継続等、様々な策を講じてきました。もちろん、これらの策は一定の成果を上げていますが、未だに、苦しい

状況が継続している現状です。

本学はこの厳しい情勢の中、『「未来」へつなぐ』為、生き残らねばなりません。その為に、本学として出来得る事は計画的に実行して行くと共に、公私協力方式で設立された本学の歴史を背景とした姫路市と獨協学園との協力関係において、更に、その関係を深化して頂けるよう、働き掛けをして行きたいと考えています。

### 姫路獨協大学のこれから

現在、JR姫路駅東側に、獨協学園・姫路市・兵庫県の連携による新県立病院の開院と、獨協学園医療系高等教育・研究機構開設のプロジェクトが2022年の誕生を目指して進行しています。

医療系高等教育機構の構成は、本学大学院研究科及びサテライトキャンパスの新規開設と獨協医科大学の参画により、医療に関わる幅広い研究や教育が行なわれる予定です。

本学と致しましても、獨協学園医療系高等教育・研究機構の2022年開設に向け、関連機関との連携・協働を深めて行きたいと考えています。



### 姫路獨協大学の地域貢献



運営方針の中でもお伝え致しましたが、本学の誕生の背景からしても、地域貢献は本学の重要な柱の一つです。

本学では、地域貢献の方針として、地域社会に貢献出来る人材の育成を始め、教育研究成果を社会へ還元するべく、地域市民との連携等を進めています。

まず、「人材の育成」につきましては、運営方針の中でお伝えいた通りです。

そして、「教育研究成果の社会への還元」では、市民講座・はりま歴史講座等、各種公開講座の開催だけではなく、地域における産官学の研究や開発事業等への参画、図書館等の大学施設開放等を進めて来ています。

それから、「地域市民との連携」では、学生や留学生らの地域の各種イベントへの参加や、ボランティア活動等が挙げられます。今後も、これまでに進めて来た地域貢献の方針に沿って、より一層進めていく所存です。

### 獨楽会への要望

今までお伝えした通り、2018年問題を迎えてしました今、本学を『「未来」へつなぐ』為、大変厳しいこの局面を乗り越えて行かなくてはなりません。

同窓生の皆様におかれましては、今後とも、姫路獨協大学を支えて頂きますよう心よりお願い申し上げます。

### 卒業生・修了生の皆様

学校法人獨協学園 姫路獨協大学 学長 柳澤 振一郎

この度は、「姫路獨協大学創立30周年記念 教育研究等の充実募金」のお願いを申し上げましたところ、本募金の趣意に御賛同頂き、卒業生・修了生の皆様、また、卒業生・修了生関係企業の皆様には、多大なる御支援を賜り、誠にありがたく、厚く御礼申し上げます。

同窓会員の皆様の心温まる御厚志を充分に活かし、大学環境(施設・設備等)の整備充実及び維持管理に努

め、皆様の御期待に添った魅力ある大学となるよう教育・研究に最善を尽くす所存でございます。

今後も「大学は学問を通じての人間形成の場である」という建学の精神に基づき、多様化した現代社会のニーズに対応して、一人ひとりが個性を伸ばし、夢を育み、地域社会の一員として活躍可能な実力を涵養出来るよう、教職員一同、社会に貢献出来る人材の輩出に力を注いで参ります。



引き続き、変わらぬ御厚誼・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。  
卒業生・修了生の皆様の益々の御活躍と御健勝、心からお祈り申し上げます。

## 人間社会学群長・副学長 道谷卓先生



2016年4月に開設された人間社会学群は、今年の新入生を迎えて1年次から4年次まで全ての学年が揃う事になり、今年度で完成年度を迎えます。

本学群は、同窓生の皆様が築き上げて来た外國語学部・法学部・経済情報学部の文系3学部の伝統を活かしつつ、有機的・発展的に改編して出来た組織です。

関西私大では初めての学群制度を取り入れ、学群の元に、旧文系3学部に相当する、国際言語文化学類・現代法律学類・産業経営学類の3学類を配置しています。

1年次は、基礎教養を重視した共通のカリキュラムで学びます。そして、2年次からは、将来の進路や興味ある学びを基に各学類を選択し、卒業時には、各学類毎に、旧3学部と同様の学位が授与される事になっています。

全学年が揃った本学群の学生は、今、文系3学部時代から続いている伝統的な授業科目に加え、学群制になって新たに導入したアクティブラーニングを取り入れた学びの科目等を履修し、卒業後の進路に向け、日々研鑽を積んでいます。

来年3月には、本学群の1期生である4年次生が卒業し、同窓会の一員となります。姫路獨協大学の卒業生として、大いに活躍してくれる事を期待しています。

同窓生の皆様におかれましては、これから誕生します本学群の卒業生を温かく迎え入れて頂きますようお願い申し上げます。

## 薬学部長

## 杉本由美先生



薬学部は、4月に第13期生を迎えるました。同窓生の皆様が病院・薬局・企業等で活躍しておられる様子、嬉しい思っております。最近では、同窓生が勤務する企業・薬局に薬剤師として就職する学生も増えてまいりましたので、後輩が就職した際には、よろしくお願い致します。

最近、薬機法が改正されました。範囲は限定されますが、薬剤師が対人業務に注力出来るように、調剤業務の一部が薬剤師以外の者にも認められるようになりました。これからの薬剤師は、在宅医療への参画が増え、患者様とのコミュニケーション能力がますます求められます。

薬学部ではPBL(problem based learning)形式の統合演習を低学年よりカリキュラムに導入しており、日本の薬学部の中でもPBLを多く取り入れています。PBL等を通して、問題解決能力やコミュニケーション能力の醸成に今後も務めたいと思います。

8月には獨協学園での連携で、多職種連携教育としてのチーム医療PBLが獨協医科大学で行なわれます。薬学部4年次生が参加する予定であり、日頃の学修成果が発揮される事を期待しています。また、西播・姫路医療セミナーにて、病院・薬局の薬剤師の先生と共に、薬学部教員・学生が研究発表を年2回行なっており、地元の薬剤師会との連携を深めています。

今後も時代の要望に応えられるよう、地域医療を担う薬剤師を育成したいと考えております。同窓生の皆様の御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 医療保健学部長

## 山本洋之先生

新緑の皐月の候、今年も新入生が入って来ていますが、その新鮮な空気と、在校生の落ち着いた雰囲気が、自動ドアを開け閉めさせてくれています。

卒業生の皆様におかれましても、それぞれの道で御活躍の事と存じますが、姫路城が改修されて、久方振りに「姫路はどんなだったか」と想いを抱いておられましたら、姫路市長も変わり、新学長が就任されて、大学も医療保健学部もまた変わり行く萌しを見つめて頂きたいと存じます。

子ども保健学科はいよいよ後3年、精一杯に学生も教職員も努めているところですが、他学科は変わり行く社会環境の中で、今後も発展出来るように努力しています。だからといって、一人よがりに変わっただけでは、他者に取って代わられてしまいます。卒業生の皆様がそうであるように、当学部は医療・教育の実践力が実として身に着くように取り組んで行きます。



獨協学園での連携として、獨協医科大学との多職種連係教育がスタートしようとしています。「駅前の県立はりま姫路総合医療センター(仮称)」では、獨協学園の研究研修施設が併設されようとしています。県下の高校とも、高大連携に向けて取り組みが始まっています。そして、入試でも「HDUチャレンジ入試」(英検資格等の多様な学生のチャレンジ)と「ファミリー入試」を充実させ、sustainable(持続的)な取り組みを強化していくところです。そして、入学生がいずれ卒業し、開花されることを願ってやみません。

## 看護学部長

## 井上清美先生



看護学部は2016年に姫路獨協大学の仲間に加えて頂き、本年度、完成年度を迎えます。開設間もない学部としての課題もございますが、志を一つにして、学生の教育に努力しています。

2019年4月現在、全国の看護系大学は272校となり、人々の健康で幸福な生活の実現に向けて貢献出来る看護系人材の養成は、社会の求めとも言えるものです。

当看護学部においては、看護学の学修に喜びと誇りを持ち、地域のニーズに応え、保健・医療・福祉の多様な分野で活躍出来る卒業生を輩出したいとの願いを持っています。看護職には、人々の「いのち」や暮らし、健康への願いに寄り添う専門職種として、科学的知見に基づいた知識と技術、そして、態度が融合された実践力が求められます。グループでの演習や実習も多く、課題達成に仲間と協力する中で、豊かな感性やコミュニケーション力が育ちます。精選したカリキュラムに

加えて、体験型のシミュレーション授業、海外研修や卒業前教育等、年度を重ねる毎に新しい教育内容の工夫も導入しております。また、夢を叶える為の段階的な国家試験受験準備教育や、保健師の国家試験受験資格を得る選抜制学修も行なっています。

本年度末、卒業予定学生は、いよいよ、国家試験受験に挑戦します。

日頃の同窓生の皆様の温かい御支援に感謝しつつ、今後とも、どうかよろしく御指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

## 入試センター長 人間社会学群教授

## 岡本悌二先生



姫路獨協大学に勤務して31年。大学開学翌年の1988(昭和63)年、体育教員・助手として赴任し、体育実技やアウトドア実習、トレーニングの講義等、全学共通科目や法学部・現代法律学類のスポーツ法学ゼミを担当してきました。また、硬式野球部の監督を長年務めてまいりました。

この4月より、本学の入試センター長に就任致しました。入試センターは、入試広報活動・進学相談会やオープンキャンパス等、受験生に対する窓口業務を担当する大学の入り口の部署です。

この30年の間、少子化が進み、18歳人口が減少し、大学を取り巻く状況が大変厳しくなっています。多くの大学では、生き残りを賭けた改革が進められ、本学も医療保健・薬・看護の新学部設置や、従来の文系3学部から人間社会学群へと移行しました。また、入試制度の見直し、地域との連携に始まり、校舎やグラウンド等、キャンパスの整備やリニューアル等、様々な取り組みをしてきました。

大学に入學する事自体、難しくなっているからこそ、教職員が本学に入

学した学生をしっかりと教育し、学生一人一人を全力で支える「面倒見の良さ」を受験生やその保護者、高校の進路指導の先生方に少しでもアピールして、本学の志願者・入学者を増やせればと思います。

姫路獨協大学一筋で勤務して來た経験を活かし、また、生まれ育った姫路で地元へのネットワークがある事を少しでも活用し、微力ですが、姫路獨協大学発展の為、入試センター長として、誠心誠意努力しようと思っています。

同窓生の皆さん、今後共、母校に対しまして、より一層の御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



人間社会学群  
国際言語文化学類3年次  
**小原瑞希さん**

### ▶▶▶ニュージーランドでの海外研修を終えて

**約**

1か月の短期語学研修でニュージーランドに渡航し、ホームステイを体験しました。

現地での生活は、日常的に英語に触れる事が出来る貴重な時間でした。文化や食生活の違いに驚く事もありましたが、実際に生活しなければ分からぬ事を経験し、異文化を学ぶ面白さを改めて感じました。

ワイカト大学での授業は、他大学の日本人が多く、正直、普段の大學生の授業と変わらないのではと不安がありました。が、レベルの高い意欲のある学生ばかりで、良い刺激を受けました。休み時間も英語で会話する等、切磋琢磨し合える環境でした。

また、理解力を深める為、前日に必ず授業の予習をするという習慣が身に付きました。放課後には友人とバスで出掛けたり、休日には大学発のツアーに参加し、ワイトモ洞窟等の名所を巡ったりもしました。

この研修で、自身の語学力に向き合う良い機会になったと思います。自分の意見や感想を英語で咄嗟に伝える事の難しさを痛感しました。しかし、繰り返し練習・勉強し、ホストファミリーと毎日会話を交わす事で、少しずつ上達して行く感覚を実感する事が出来ました。ホームステイを通じ、新しい出会いや文化交流を経験出来た事は、私にとって大きな糧となりました。



人間社会学群  
産業経営学類4年次  
**狭間美佳さん**

**獨**

衆の皆様、女子サッカー部主将の狭間です。いつも、応援頂きます、本当に、ありがとうございます。

今まで、「味の素スタジアムでの日本一」を目指した先輩方でしたが、ベスト8の壁がなかなか越えられず、涙を飲んで来ました。

応援して下さっている沢山の方々、偉大な先輩方の想いも背負って闘ったインカレ!一人一人が誰かの為に自分の出来る事を全力で取り組む事で、創部以来、初のベスト4の進出、東京ラウンドに進む事が出来ました。

しかし、準決勝で敗れ、結果は第3位の銅メダル…。

### ▶▶▶4回生にとって最後の挑戦



遠い場所から、足を運んで応援に来てくれる家族。貴重な休みを使って、檄を飛ばしに来てくれる友達。成し遂げられなかった想いを後輩に託し、変わらず協力してある先輩方。

沢山の想いを感じながらサッカーが出来る事、そして、大好きな仲間と最高の舞台でサッカーが出来た事は、一生の財産です。この経験が、各々の次に繋がるように、これからも輝き続けて行きます。

そして、世代が代わり、新たな伝統を残していく事にも、これまでより、一層努力しなければならないと思っています。

これからも、応援をよろしくお願いします。

## 【 タイ言語文化・ビジネス研修】に参加して

人間社会学群教授 **大崎 雅一先生**

目を数えます。

現在、この研修では、(1)協定を締結しているラームカムヘン大学との交流、(2)姫路からの進出企業の見学、(3)タイの先進的な医療観光を行なっている病院の見学、(4)タイで働く卒業生との交流等を目的としています。学生がこの研修に参加する事により、一人一人の個性に合った、より良いキャリアデザインを考える契機となる事を期待しています。

その後、2012年2月より、学習支援センターの活動の一環としてタイ王国での海外研修を開始し、これまで多くの学生が参加し、9回



銘苅彩弥さん(左端)と松原康貴さん(右から2人目)、岡本晃生さん(右端)

### ▶▶▶まねき食品株式会社訪問

人間社会学群 産業経営学類3年次 **岡本晃生さん**

**中**

華麗に和風出汁と言う「えきそば」で有名な姫路のまねき食品株式会社は、2018年11月、チャオプラヤー川西岸に新しく出来た大型複合施設ショッピングモール「ICONSIAM(アイコンサイアム)」内の高島屋のフードコートに、「Maneki Dining」を出店されています。

私達は、2018年4月に代表取締役社長に就任なされた竹田典高氏から、お話を伺いました。

御存知通り、まねき食品株式会社は、姫路や大阪で、弁当事業を中心に、様々な食品関連事業を展開されている会社です。近年、コンビニ弁当なる強力なライバルが現れましたが、まねき食品株式会社が生き残る為には、全国一律であるコンビニ弁当に対して、ここでし

か買えないという付加価値が何よりも大切になってくるとの事でした。

また、日本では人口減少の上、コンビニ弁当との競争激化等があり、海外展開のチャンスを伺ってござれ、2017年に台湾、2018年にはタイに出店されたそうです。

お弁当は、日本では当たり前のように食べていますが、海外で受け入れられる保証はありません。その上、海外進出に当たり、国によって考え方の違いから、マニュアルの扱いにも相当の苦労があるそうです。

まねき食品株式会社の創業の精神「全てに感謝、常にチャレンジ」をモットーに、海外では珍しい、日本の彩り鮮やかな弁当を海外で広めたいという竹田社長の強い意志に、強い感銘を受けました。

### ▶▶▶ブレス薬局(BLEZ ASIA Co.,Ltd)訪問

人間社会学群 産業経営学類3年次 **松原康貴さん**

**バ**

シコクで薬局8店舗と2つのクリニックを運営しているブレス薬局(BLEZ ASIA Co.,Ltd.)の飯田直樹代表にお話を伺いました。

飯田代表は、大学3年の21歳の時に起業を決意し、日本でシステム販売会社を設立されました。しかし、扱っていたコンピュータ・システムは、自ら手を入れられない物なので、今度は自分でコントロール可能なものをやりたいと思われる中で、海外商品は日本で需要があると気付き、23歳の2011年1月、タイに移住されました。最初は、商品を幅広く扱って販売されていましたが、徐々に利益を出す商品に絞って販売されたそうです。一番売れた商品が育毛ローションだった為、安値で仕入れるべく製造元を訪ねられましたが、薬局でなければ

販売して貰えなかつたとの事で、薬局を起業する事になったそうですね。

飯田代表のお話で一番印象に残っている事は、「ネット・金融・言語リテラシーはビジネスの3本の柱だ」と言う点です。私自身、英語を身に付けなければならぬと思いました。「出来ないからいいや」ではなく、ビジネスには通用せず、時間も待ってくれません。今ではSNSも発達し、ネット上で簡単に企業経営者や企業家とも出会えます。また、セミナー等にも参加し、自分に何が必要か見極め、成長して行く事が大切だとおもいました。

私の家は造り酒屋です。折角のチャンスを活かし、日本酒を世界に展開出来るようにしたいと動き出しています。

## ▼ 外国語フェスティバルweek

### 【 英 語 】

2018年12月8日(土)、20周年記念ホールにおいて「英語トリアクイズコンテスト」「英語スカベンジャーント」「英語フォトコンテスト」を開催し、参加者全員が日頃の勉学の成果を発揮して楽しめました。入賞者には賞状と、賞品券など副賞に加え、イベントを後援して下さった同窓会からの図書券が贈られました。

#### 〈英語トリアクイズコンテスト(チーム戦)〉

- 〈第1位〉渡邊香菜(人間社会学群2年次)
- 岡本滉平(外国語学部4年次)
- 〈第2位〉渥美快人・鶴丸和幸(人間社会学群1年次)
- 〈第3位〉生田佳実有・福田さくら(人間社会学群2年次)



#### 〈英語スカベンジャーント(チーム戦)〉

- 〈第1位〉生田佳実有・福田さくら(人間社会学群2年次)
- 池田千智・盛田若愛(人間社会学群2年次)
- 〈第2位〉太田愛理・宮内真子(人間社会学群2年次)
- 〈第3位〉太田愛理(人間社会学群2年次)

#### 〈英語フォトコンテスト〉

- 〈第1位〉小林優志(人間社会学群2年次)
- 〈第2位〉鈴木大貴(人間社会学群2年次)
- 〈第3位〉太田愛理(人間社会学群2年次)

### 【 韓国語 】



第13回韓国語弁論大会が、2018年12月8日(土)9時半より、20周年記念ホールで行なわれました。

人間社会学群・薬学部・市民講座からの24名の参加があり、日頃の学習成果を発表しました。

各部門の1位・2位・3位入賞者には、例年と同じく同窓会から副賞の図書カードも授与され、参加者達の今後の学習の励みになりました。

### 【 中国語 】

2018年12月15日(土)、中国語弁論大会を開催致しました。前年度は、諸事情により開催を見送った為、2年振りの開催となります。

今回は朗読の部8名(人間社会学群7名・看護学部看護学科1名)、暗誦・弁論の部6名(人間社会学群4名・外国語学部外国語専攻1名・言語教育研究科中国語コース1名)の計14名が参加し、日頃の学習の成果を披露しました。今回の朗読及び暗誦の課題文は、それぞれ漢詩3首が指定され、参加者が1首を選び、朗読もしくは暗誦となりました。

#### 朗読の部

- 〈第1位〉福田さくら(人間社会学群1年次):「お正月」
- 〈第2位〉盛田若愛(人間社会学群1年次):「アオガエル」
- 〈第3位〉高島琴奈(人間社会学群1年次):「結婚について」
- 〈神戸教育院長賞〉池田千智(人間社会学群1年次):「銀河水から来た男」
- 〈審査員特別賞〉鄭洋(人間社会学群3年次):「兄と弟」
- 〈敢闘賞〉豊田真綾(薬学部1年次):「星を数える夜」
- 〈敢闘賞〉林聰子(薬学部1年次):「兄と弟」

#### 暗誦の部

- 〈第1位〉今田さやか氏(獨協市民講座):「ツツジの花」
- 〈第2位〉梅本紘生(外国語学部4年次):「序詩」
- 〈第3位〉小原瑞希(人間社会学群2年次):「ツツジの花」
- 〈神戸教育院長賞〉三木豪人(薬学部1年次):「昔はまだ知りませんでした」
- 〈審査員特別賞〉下條南海(薬学部1年次):「ツツジの花」
- 〈敢闘賞〉岡本紗菜恵(薬学部1年次):「昔はまだ知りませんでした」
- 〈敢闘賞〉寅野舞衣子(人間社会学群1年次):「序詩」

#### 弁論の部

- 〈第1位〉前智也(人間社会学群2年次):「不運万歳」
- 〈第2位〉山本萌衣(人間社会学群2年次):「希望とは諦めないこと」
- 〈第3位〉大瀧夕起(人間社会学群2年次):「故郷」
- 〈神戸教育院長賞〉白川誠也(人間社会学群2年次):「韓国で感じたこと」
- 〈審査員特別賞〉橋爪優佳(人間社会学群2年次):「希望のメッセージ」
- 〈敢闘賞〉垣崎嘉菜(人間社会学群3年次):「平和」

#### 朗読の部

- 〈第1位〉中安瞭太郎(人間社会学群1年次):「楓橋夜泊」
- 〈第2位〉西尾太一(人間社会学群1年次):「楓橋夜泊」
- 〈第3位〉生田佳実有(人間社会学群1年次):「山行」
- 〈特別賞〉碓氷大貴(人間社会学群1年次):「春曉」
- 〈第1位〉小原瑞希(人間社会学群2年次):「涼州詞」
- 〈第2位〉吉川徹(言語教育研究科1年次):「難忘の屋久島の大自然」
- 〈第3位〉渡邊香菜(人間社会学群1年次):「早発白帝城」
- 〈特別賞〉李志昊(人間社会学群1年次):「我在日本的学习生活」

#### 暗誦 弁論の部

## 告知! 医療保健学部 | 「医療・健康フェア2019」開催します!



医療保健学部では、2019年10月19日(土)、姫路駅北にぎわい交流広場中央地下通路にて、「姫路獨協大学:医療・健康フェア2019」を開催します。

このイベントは、地域の皆様方に、学生が教員と共に学んでいる健康増進に関する知識や技術を提供し、健康的な身体を維持して頂くきっかけになればと思い実施しています。  
会場では、各学科がテーマに沿って専門分野のブースを設け、健康チェックや体験型プログラムを提供します。  
現在、楽しんで体験して頂けるよう準備を進めております。同窓生の皆様を始め、御家族や御友人、地域の皆様の御来場をお待ちしております。是非、お越し下さい!



<写真は昨年度の様子>

## ▼ 第2回姫路獨協大学理学療法学科学術交流会

2018年に引き続き、2019年3月3日に交流会を開催致しました。

卒業生22名・教員6名・在籍生2名で、30名の方々に参加して頂きました。

当日は、医療保健学部長の山本洋之先生に、「デカルトから始まった理学療法～ノーベル賞受賞者は何を理学療法にもたらしたか～」と題して、特別講演をして頂き、3名の卒業生から症例報告がありました。

更には、第1期生による非常に内容が濃い教育講演(「栄養と肥満～骨格筋の役割～」「スポーツのリハビリについて」「最新の研究から得られる肩関節の運動学と臨床応用について」)がありました。

参加者の皆様からも、大変有意義な会だったとの旨、お褒めの言葉を多数頂き、どのセッションも活発な質疑応答が繰り広げられ、主催者側としては、より多くの卒業生や在籍生・先生方に聞いて欲しいと思いました。

また、交流会終了後には懇親会を行ない、様々な話が出来る会となりました。それは、同窓会も兼ねた素晴らしい会となりましたので、是非、第3回交流会にも多くの方に参加して頂ければと思います。

第2回交流会は、第1期生3名・第2期生2名・第3期生1名が実行委員として準備を進めて参りました。今後も、この交流会を盛り上げ



医療保健学部  
2010年3月卒  
安田昌弘さん



て、継続して行く為に、企画・運営スタッフを募集しています。実行委員は卒業生で構成しており、同じ気持ちの仲間と色々な情報交換が出来、刺激を受け合い、経験を積めると思いますので、気軽に参加を検討してみて下さい。

最後になりましたが、本交流会の開催に際しまして、御支援・御協力頂きました姫路獨協大学医療保健学部教員の先生方、卒業生並びに獨楽会の皆様方に、深く御礼申し上げます。

## ▼ 作業療法学科 「ひめじもりあげ隊」として活動中!

2018年、作業療法学科の学生がメンバーとして参画している「ひめじもりあげ隊」が、「ふるさとづくり青年隊事業」(公益財団法人兵庫県青少年本部主催)に採択されました。

「ひめじもりあげ隊」は、作業療法学科の学生を中心に、本学の他学科の学生や他大学の学生もメンバーとして加わる団体で、地域のNPO法人の方々とも協力し、誰もが訪れ易く楽しめる観光のまちづくりを目指しています。その中でも、姫路城が障害のある方々や高齢の皆様にも、安心して見学し、楽しめる場所となるようなおもてなし体制を構築し、姫路城の更なる観光の魅力UPに貢献する事を目指して活動しています。

2018年度は、車椅子による現地調査等を行ない、身体に不自由のある旅行者に対して、観光地としての可能性を調査しました。そして、体力や歩行に不安のある方が、車椅子等で、姫路城を楽しむ為のユビバーサルマップの作成に取り組んできました。

この活動は好評を博し、2019年は継続事業として採択され、今年度はITを活用し、動画を撮影・編集、そして、ホームページ上でも情報発信を行なう為の取り組みを行ないます。



## ▼ 姫路市大学発まちづくり 研究助成事業成果発表会

2019年2月19日(火)、イーグレひめじ「あいめっせホール」において、平成30年度姫路市大学発まちづくり研究助成事業成果発表会で、成果発表を行ないました。

姫路獨協大学からは、経済情報学部・人間社会学群の「播磨の地酒知名度向上グループ」(代表:星野次郎先生)と「老年・公衆衛生・在宅看護協働チーム」(代表:有田秀子先生)が参加しました。

まず、「播磨の地酒知名度向上グループ」は、教員と学生らで構成された研究グループで、「播磨の地酒の知名度アップの試み—姫路城さくらこうぼのお酒」の事例から「という研究テーマで成果発表を行ないました。

「研究内容」薬学部が本田商店との協同で開発した「姫路城さくらこうぼのお酒」を対象に、問題解決手法を活用した播磨地域の地酒のブランド力強化に関する研究

次に、「老年・公衆衛生・在宅看護協働チーム」は、「認知症の方にやさしい事業所における認知症サポーターの活動の実態」という研究テーマで成果発表を行ないました。

「研究内容」「認知症の方にやさしい事業所」の認定を受けている事業所の認知症サポーターの活動を分析

また、石見前姫路市長の総括では、「播磨の地酒知名度向上グループ」の学生らが研究において、「ヘドニック・アプローチ」という分析方法を用いたことに感心させられたと話されました。



(右)経済情報学部2019年3月卒  
中谷開さん  
(左)経済情報学部2019年3月卒  
栗川和樹さん

## 価値的に生きる

元中国語学科教授・名誉教授  
**伊井健一郎先生**

めでたい「令和」の幕開け。「令和」は、中国語で「和せしむ」とも読みます。「穏やかにさせる。睦まじくさせる。仲直りさせる。」ということです。新時代が、平和で麗しく、人間の善性を信じ抜く世界でありたいものです。

去る3月、久し振りに姫路獨協大学の卒業式に参列した後、大学構内を歩き、拡張された建築群を見て、大学と卒業生の皆さんの挑戦と発展を祈念しました。同窓会より「近況報告」を求められましたので、簡単に記します。

1995年から作業を始めた中国の作家・周而復の『長城万里図』全六巻(375万字)の翻訳・出版が、22年後の2017年6月、全六巻刊行会支援の下、13冊目の『霧の重慶(下)』(教育評論社)で完了しました。本学の教員・卒業生も含め、全国65名の訳者からなる「日中21世紀翻訳会」による邦訳です。作品は、1937年から45年にかけての日中戦争を主題にした反ファシズム戦争を描くノンフィクション政治歴史小説で、中国の『戦争と平和』とも言われました。本学と神戸市外国語大学・大阪のアジア図書館他にて閲覧出来ます。

私の日常は、作品13冊の再読学習、新聞・雑誌の熟読、講演会参加、そして家事や病院通い等です。また、横浜関内の大人橋への歩行等、一日8千歩を目処に健康維持の生活を送っています。友人・同窓生・青年との出会いや伊勢佐木でのジャズライブ・落語・ミニコンサート等に出掛けるのも楽しみです。

先日、石神豊著『調和と生命尊厳の社会へ』(2008年・第三文明社)を読みました。「生命とは宇宙とともに本有常住の存在」だと言います。残り21年の“遊楽”的人生、より価値的な生き方を求めて、人類の平和と幸福のために、学び行動する日々です。



世界漢語教学学会永久会員  
(1988年~2011年御在職)



## 活躍する同窓生



法学部 2019年卒

**松井省吾さん**

私が教職に就こうと思った理由は2つあります。  
まず、1つ目は中学時代の先生に憧れたからです。

その憧れの先生は社会科教諭で柔道部の顧問でした。そして、その先生の社会の授業は、豆知識やギャグを取り入れられ、大変面白

く、且つ説明も解り易く、小学校の頃から社会、特に歴史が好きだった私に、より社会科を好きにさせて下さいました。また部活動でも、その先生に指導して貰いたいと思い、柔道部に入部し、心身共に強く指導して頂きました。教科指導も部活指導もしっかりされており、私もその先生のようになって社会や柔道を教えてと考え、教師を目指しました。

二つ目は、児童生徒に対して一人一人と真剣に向き合い、強く育てたいと思ったからです。

近年、いじめや親からの虐待が原因で不登校や自殺をする児童生徒が増えています。教師と言う職業は、児童生徒に知識を教える教科指導だけが役割ではありません。悩みや問題を抱えている児童生徒に対して、授業以外でも関わり、心の面でも強く導く事が教師の大切な役割だと考え、教師を目指しました。

実際に、現在勤務している中学校で学習面以外でも生徒とコミュニケーションを図っています。生徒個々の性格を理解し、僅かな変化にも気付くよう努力し、生徒を精神面でも強く導けるよう心掛けています。

最後に、これから私は様々な困難に直面すると思います。児童生徒を指導し、強く育てると共に、私自身も成長し強くなりたいです。私が中学校時代の先生を憧れたように、生徒が憧れるような先生を目指して頑張っていきたいです。



2012年3月に外国語学科を卒業した八杉倫と申します。卒業後、在学していた獨協医科大学で非常勤講師として勤務しました。その後、九州外国語学院と言う日本語学校に専任講師として勤務しました。

小職は大学院博士課程修了で博士号を取得している事から、大学院

▶▶▶ 外国語学部 2012年卒

**八杉 倫さん**

進学クラスの2クラスの担任(卒業クラスは1クラス)を務めました。通常の日本語の授業だけではなく、中国の大学の卒業論文指導・口頭試問指導・大学院進学の研究計画書作成・専門分野の教授との連絡方法等を個別指導で行ないました。担任したクラスでは、京都大学大学院を始め、九州大学大学院等の旧帝大大学院に全員合格をさせました。

その後、東京に帰り、数校の日本語学校専任講師・教務主任や専門学校の専任教員を経て、現在は、2019年10月に開校する(法務省告示内示・東京都設置認可済)学校法人帝京平成大学が設置した帝京平成大学附属日本語学校で教務主任として、設置準備に携わっております。また、帝京平成大学ヒューマンケア学部で非常勤講師も務めております。

本学で学習した日本語教育が、現在の職業に就けるきっかけになりました。

▶▶▶ 医療保健学部 2010年卒

**安田昌弘さん**

2006年に医療保健学部理学療法学科が開設され、13年という歳月が経ちました。既に、第10期生が臨床の現場へと輩出されています。私は第1期生として卒業し、理学療法士となり、臨床に出て3月で10年目になりました。

2018年度に開催された第1回姫路獨協大学理学療法学科学術交流会に参加し、「普段、違う世代の卒業生や、お世話になった先生方、そして現役在籍生が揃う機会は、めったにない!」と思いました。

更に、「是非、この機会に、この会をきっかけに交流を深め、更に知見を高め合えたら素晴らしい」と感じ、今回、私は第2回姫路獨協大学理学療法学科学術交流会の実行委員長を務めさせて頂きました。

参加者の皆様から頂いた「大変有意義な会だった」とのお褒めの言葉は、本当に嬉しいものでしたし、活発な質疑応答が繰り広げられた事も、有り難い事でした。また、交流会終了後の懇親会も、同窓会を兼ねた素晴らしい会となりました。是非、第3回交流会にも多くの方に参加



して頂ければと思います。

今後も、この交流会を盛り上げ、継続して行く為、企画・運営スタッフを募集しています！

素晴らしい機会だと思いますので、是非、御協力をお願い致します。

独楽会より▶安田さんは、第2回理学療法学科学術交流会の実行委員長を務められました。交流会の御報告は、8-9頁を御一読下さい。

▶▶▶ 外国語学部 2001年卒

**武智晴子さん**

はじめまして。日本語学科を卒業した武智晴子です。

本学に進学した目的は、日本語教師になると言う夢があったからです。しかし、いざ海外で働く事を考えると、英語を習得する必要がありました。ですから、日本語学科でありながら、5限時目終了後にTOEFL講座を受講し、本学3年次には、交換留学生として豪のマードック大学に留学し、帰国後は日本語教育の実習や、また、中・高教員免許状取得の為にも励みました。

大学卒業後、キリスト教の「聖書」を深く学ぶ為、アメリカNY州の学校に進学・卒業し、現在まで「姫路バプテスト教会」にて働いております。

姫路獨協大学で培った学びは、随所に活かされています。英語を習得しましたので、「ライトハウスインターナショナル」という子ども英会話教室を設立、また、日本語教育を専攻しましたので「姫路宣教日本語学院」を設立、そして、中・高の教員免許状取得で学んだ事を活かし、青少年育成の「Gospel House Himeji」の立ち上げから運営、最近では「English Café」の立ち上げにも携わっています。また現在、アメリカの大学院の修士課程にも在籍し、大変充実しているのも、母校のお蔭です。感謝しております！